

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

も2
た。く
兄の
けら

大船渡東・野々村和
樹主将(2年)



安打3打
点でチー
ムに貢
献。地区
予選は不

調だったので、その後
1日500回の素振りに
取り組み、強い打球を打
つことを意識してきた。
チームのために点が取れ
てうれしい。ベスト4以
上を目指す。

花巻

◇1回戦▽第1試合

金ヶ崎

001001000
000103001×
52

花北青雲

(金) 千葉、樋口、及川

(花) 瀬川悠、渡辺

▽第2試合

▽第2試合

卓、瀬川悠(花)

▽第2試合

花巻東 000004030
水沢工 2000001000
37

(花) 田中、川村、佐藤真
山口

(水) 千田、千葉魁、菊地
千葉星

▽第3試合
(水) 佐藤真(花) 及川颯

千厩 000000200
盛岡三 01300001×
52

(千) 佐藤、千葉、金野

(盛) 上野、鹿内、水戸谷

▽千葉(千) 川原田、川村、志和(盛)

▼花北青雲、主戦が躍

動 花北青雲は主戦右腕の瀬川悠維(2年)が投打に活躍し、鮮やかな逆転勝ちで初戦を突破した。

打線は五回まで3安打

と苦しんだが、金ヶ崎に1-2と先行された直後の六回裏に反撃。代打瀬川卓矢(2年)の左翼線二塁打を足掛かりに2死

一、三塁と攻め、9番打者の瀬川悠が左中間を破る2点二塁打で逆転。相手投手が捕手のサインに首を振るのを見て「空振りした直球が必ず来る」

と読み切った一打だった。さらに1番武藤聖弥(2年)が右前適時打で続き4-2と突き放した。投げては11安打を許しながら2失点でしのぎ、公式戦初完投に背番号1は「野手がしっかり守ってくれるのを信じて投げ抜いた」と喜びをかみしめた。

▼花巻東、重圧払う逆

転 花巻東が初戦の重圧に苦しみながら水沢工を振り切った。変則フォームの相手右腕にタイムिंगを外され、五回まで2安打と沈黙。佐々木洋監督は「(初戦敗退した)夏の岩手大会の悪夢を思い出した」と語り「負けちゃいけないと思つた。逆転して絶対に勝つんだ」という気持ちを出せ」と選手を鼓舞した。

よつやく緊張が解けたのは0-2で追う六回。連打で無死一、三塁と攻め4番山口澤也(2年)の中犠飛。さらに2死一、